

さび反応形 弱溶剤系2液反応硬化形エポキシ樹脂系さび止め塗料

# ワイドさびストップ

## 特長

### さび転換補助剤配合

さびに含まれる「水分」「鉄イオン」と化学反応し、さびを安定な状態に転換し、さびの発生を抑制します。

### 防せい性

エポキシ樹脂とアミンの反応硬化機構により形成される強靱な塗膜は、さび発生の要因となる水分と酸素の遮蔽性に優れ、さびの発生を抑制します。  
塩水噴霧およびサイクル腐食性試験において、優れた防せい力を示します。

### 素地調整費の低減

浸透性に優れ、3～4種程度のケレンで塗装できますので、素地調整費用の低減、塗装工期の短縮が図れます。

### 付着性

素材及び旧塗膜に対し、強力な付着性を発揮します。  
トタンやアルミなどの非鉄金属にもご使用いただけます。

### 旧塗膜適合性

活膜の旧塗膜をリフティング・溶解させにくく、安心して塗装できます。

### 上塗適合性

各種上塗塗料が塗装可能です。上塗りの美しいつや・仕上がりが得られます。

### 厚膜に塗装しやすい粘性設計

塗装時のたれやたるみを起こしにくい粘性設計ですので、1回塗りで50～70μmの厚膜塗装が可能です。

### 低臭

塗料用シンナー可溶タイプのため、臭気はマイルドです。

### 安全性

鉛・クロムなど有害な防せい顔料を含みませんので、安全性に優れます。

### F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆で、内装仕上の制限を受けません。

### JASS 18 M-109適合品

JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー及び弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマーに相当する性能です。

## 防せい性試験（サイクル腐食性試験）

- ・基材：さび残存鋼板（4種ケレン）
- ・試験条件：JIS K 5600-7-9 サイクルD 100サイクル



ワイドさびストップ

2液形さび止め塗料

1液形さび止め塗料

## 用途

建築物：鉄鋼構造物・階段手摺・屋根など

プラント：各種タンク（外面）・パイプ類・ダクトなど

注意：シャッター・歩行部位への塗装は避けてください。

## 適用素地

鉄骨・鋼板・亜鉛鉄板（溶融亜鉛めっき、電気亜鉛めっき）・カラートタン・ガルバリウム鋼板・ステンレス鋼板・アルミニウム板

注意：どぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼材は、1ヶ月以上暴露し、素材表面をディスクサンダー（研磨紙P120～240）にて入念に研磨し、白さびを除去してください。

艶が残っている場合は塗装を避けてください。

塩化ビニル被覆鋼板には適用できません。

## 適用旧塗膜

合成樹脂調合ペイント・アクリル樹脂塗料・アルキド樹脂塗料・ポリウレタン樹脂塗料・塩化ゴム樹脂塗料

注意：事前に試験塗りをを行い、×カット・布ガムテープ剥離試験を行ってください。十分な付着性が確保されていない場合は、選用できません。

## 適用上塗塗料

弱溶剤系：ワイドエポレシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、ワイドルーフシリーズ、1液ワイドルーフセラシリーズ、1液ワイドビーズコートSiなど

水系：ユニシリーズ、ルーフバリア水性シリーズ、ビーズコート（無機・F・Si）・ビーズルーフシリーズ、アクアエポレシリーズ、水性ベスコロSi など

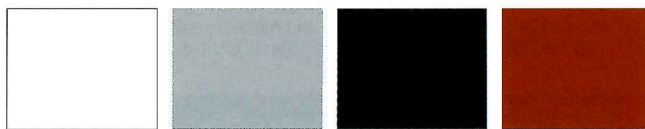
注意：仕上塗材、クリアーは塗装できません。

## 荷姿・色相

容量：16kgセット（主剤14.4kg 硬化剤1.6kg）

4kgセット（主剤 3.6kg 硬化剤0.4kg）

色相：白・グレー・黒・赤さび色



白

グレー

黒

赤さび色

（日塗工N-93近似）（日塗工N-67近似）（日塗工N-25近似）（日塗工09-40L近似）

※注）色見本は印刷ですので、現物とは若干の色差があります。ご了承ください。



## 塗膜性能

試験項目	結果	品質規格
容器の中の状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になる。
半硬化乾燥性	合格	標準16時間以内、低温24時間以内
塗装作業性	合格	支障がない。
ポットライフ	合格	5時間後、使用できる。
たるみ性	合格	たるみがない。
上塗り適合性	合格	支障がない。
耐おもり落下性	合格	割れ及び剥がれがない。
付着性	合格	分類1又は0
耐アルカリ性	合格	5%NaOH水溶液浸漬で異常がない。
耐熱性	合格	外観が正常である。試験後の付着試験で分類2、分類1又は分類0

試験項目	結果	品質規格
サイクル腐食性	合格	さび、膨れ、割れ及び剥がれがない。
塗膜中の鉛 (質量分率%)	配合せず	0.06以下
塗膜中のクロム (質量分率%)	配合せず	0.03以下
屋外暴露耐候性	合格	さび、膨れ、割れ及び剥がれがない。

試験方法はJIS K 5551構造物用さび止めペイントC種に準じる

## 標準塗装仕様（オール弱溶剤系塗料による塗装仕様）

### ●鉄鋼構造物・ダクト・パイプ……アクリルシリコン樹脂仕上げ

#### ■素地：鉄鋼面・ステンレス鋼面

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	●ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨布などの手工具を併用して、さび、黒皮、油分、付着物などを除去する。(JASS18鉄面素地調整2種)					
下塗り	ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0～5	0.18～0.24	1～2	8時間以上 1ヵ月以内	はけ塗り／ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	1液ワイドウォールSi 塗料用シンナー	100 5～15	0.12～0.16	2	(工 程 内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り／ローラー塗り エアレス塗り

●上塗りには、ワイドエポレーシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドビーズコートSi、ユニシリーズ、アクアエポレーシリーズ、ビーズコート（無機・F・Si）などの塗装も可能です。

### ●屋根……エポキシ・シリコン変性樹脂仕上げ

#### ■素地：亜鉛鉄板・カラータン・ガルバリウム鋼板

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	●素地のさび、劣化塗膜、汚れ、付着物を皮すき、ワイヤブラシ、研磨布、サンダーなどを用いて除去する。 油類は溶剤ぶきで除去する。または高圧水洗で除去、清掃する。 ●素地は十分に乾燥させる。					
下塗り	ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0～5	0.18～0.24	1～2	(工 程 内) 16時間以上 (工 程 間) 16時間以上	はけ塗り／ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	ワイドエポレーSi 塗料用シンナー	100 0～20	0.10～0.16	2	(工 程 内) 16時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り／ローラー塗り エアレス塗り

●上塗りには、ワイドエポレーシリーズ、ルーフバリアシリーズ、アクアエポレーシリーズ、ビーズブルーフシリーズ、水性ベスコロSiなどの塗装も可能です。  
本仕様の塗装間隔時間（16時間以上（23℃））は厳守してください。

●エアレス条件（一般建築塗装用エアレス機／一次圧0.4～0.5MPa、二次圧12～20MPa、吐出量0.6L/min以上）

(注) ■さび落としは、金属素地が露出するまで、ケレンしてください。

■ワイドさびストップの塗付量が少ないと、防せい性及び付着性が低下しますので、必ず標準塗付量（0.18～0.24 kg/m<sup>2</sup>）を塗装して膜厚（50～70μm）を確保してください。  
エッジ部、凹凸面（40μm以上）、さびが発生していた面などは1液ワイドさびストップを増し塗りしてください。

■塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

■亜鉛めっき面に塗装する場合は標準塗付量0.14～0.24kg/m<sup>2</sup>/回、標準膜厚40～70μm/回となります。

■公共建築改修工事標準仕様書などにおけるJASS 18 M-109規格の下塗りとして使用する場合は、標準塗付量0.14kg/m<sup>2</sup>/回、標準膜厚40μm/回となります。

■溶剤系塗料のエポレーなどを塗装する場合、被塗面が素地、又は耐溶剤性が良い既存塗膜面であることを確認してください。

屋根以外でも塗装間隔を16時間以上（23℃）取ってください。

■水系塗料を塗装する場合は、塗装間隔を24時間～7日間（23℃）としてください。

## 塗装基準

項目	5℃	10℃	23℃	30℃
可使時間	10時間	7時間	5時間	2.5時間
指 触	4時間	2時間	1.5時間	1時間
硬 化	24時間	20時間	12時間	8時間
塗装間隔	24時間～1ヵ月	16時間～1ヵ月	8時間～1ヵ月	6時間～1ヵ月

※乾燥時間は標準の数値です。塗装方法・塗装条件により多少の幅を生じることがあります。塗装間隔は弱溶剤系塗料が塗装可能な時間の目安です。（屋根塗装の場合は異なります。）

項 目	内 容
標準塗付量	0.18～0.24kg/m <sup>2</sup> /回
標準膜厚	50～70μm
塗装方法	はけ、ローラー、エアレス
希 釈	塗料用シンナー 0～5%